



# EMV 3-Dセキュア導入を容易に

ASUKA-3DSにより、各種コストの低減やECサービスユーザーの利便性を確保



ECシステム開発や運用保守にかかる費用の低減

## ECシステム開発費用の低減

ASUKA-3DSの導入により、ECシステム開発にかかる費用を低減することが可能です。一般的なEMV 3-Dセキュア導入と比べておおよそ半分ほどの開発の工期・費用で原則義務化とされる3-Dセキュア導入を実現します。

\*弊社サービス利用加盟店での複数の実績より。ご利用のECシステムにより変わる可能性があります。

## 運用・保守にかかる費用の低減

EMV 3-Dセキュアは国際標準の規格に準じて提供されるものであり、規格がバージョンアップした場合はEC加盟店側での追加開発が必要になることがあります。このような変化が生じた場合でも、ASUKA-3DS側で対応することにより、EC加盟店側での追加開発を最小限にとどめることが期待できます。



EMV 3-Dセキュア導入効果の最大化

## フリクションレスフローの最大化

ASUKA-3DSを利用するEC加盟店に対し、国内外のEMV 3-Dセキュアの運用事例の情報提供や、カード発行会社（イシュアア）によるリスクベース認証の最適化をサポートします。これにより、EMV 3-Dセキュアの最大の特徴の一つでもあるフリクションレスフローの比率を増加し、ECサイトにおける顧客利便性を最大化することが期待できます。

\*リスクベース認証：カード決済時に、カード発行会社（イシュアア）によって行われる取引の不正リスクを評価し、リスクに応じて本人認証の実施有無を判断するEMV 3-Dセキュアによる特徴の一つ。

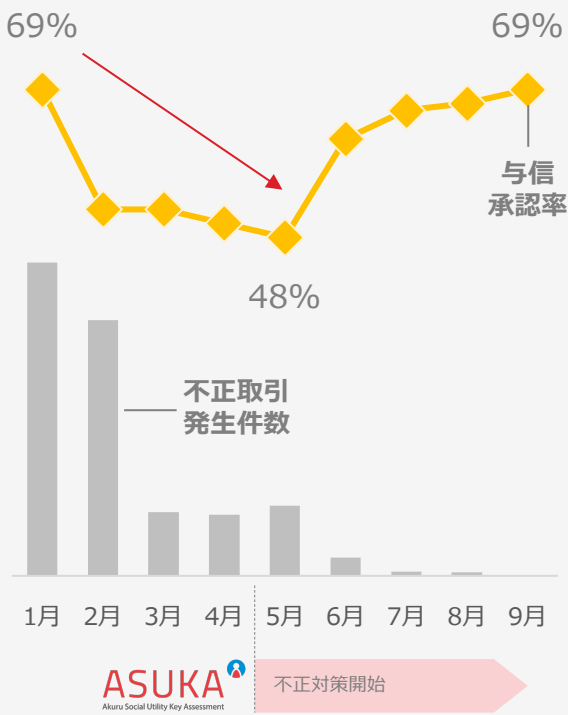
\*フリクションレスフロー：前述のリスクベース認証において、不正リスクが低いと判断された取引では、パスワード入力などの本人認証手続きなく決済を完了させるフローのこと。

お問い合わせ

# 顧客体験の最適化

ASUKAによる各種の属性・行動分析との併用で期待される顧客利便性の向上

## 不正利用と与信承認率



左の図は、あるECカード加盟店における不正利用の発生件数と与信承認率の関係を示したものです。

ある年の年末年始において不正取引の発生が急増しました。この影響を受け、数ヶ月後には、与信承認率が50%を下回るほどとなりました。

5月から弊社サービスによる不正対策により、不正の抑止とともに、与信承認率を当初の水準にまで戻すことに成功した事例です。

## 不正対策による与信承認率の向上

EMV 3-Dセキュア導入により、チャージバックによるECカード加盟店の経済的損失は原則無くなりますが、カード発行会社に負担が集中し、決済時の与信承認率が低下するなど、EC加盟店の売上・真正なEC利用顧客に悪影響を与える可能性があります。こうしたリスクに備え、EMV 3-DセキュアとASUKAによる不正検知（属性・行動分析）の併用を推奨し不正取引を決済前に検知・防止し、カード発行会社のリスクを軽減し、承認率の向上、売上機会の確保、顧客利便性の向上が見込めます。

お問い合わせ

# 各種ガイドラインへの対応

EC運営において必要とされるセキュリティ対策をワンストップで提供

## <線>の対策を網羅

クレジット取引セキュリティ対策協議会により、2025年4月以降のセキュリティガイドラインが制定されました。

カスタマージャーニーに即した「線の対策」を採用していくことがECカード加盟店に対して必須化されます。

ASUKA-3DSとASUKAによる属性・行動分析を併用することで、線の対策における「決済前・決済時・決済後」の全てのシーンにおけるセキュリティ対策を網羅できます。

### 不正利用対策 / 線の考え方



出典:クレジット取引セキュリティ対策協議会・クレジットカード・セキュリティガイドライン【5.0版】  
2025年4月以降のEC加盟店の情報保護対策及び不正利用対策

## ガイダンスに即したEMV 3-Dセキュアの運用体制をサポート

関係者限りとし、セキュリティ対策状況や取引内容に応じたEMV 3-Dセキュアの運用パターンが規定されました。モデルケースとして複数の運用が示されており、取引ごとのEMV 3-Dセキュア本人認証の実施をEC加盟店判断としているパターンがあります。

ASUKA-3DSに加え、ASUKAによる不正検知（属性・行動分析、クレジットマスター対策）などを併用することにより、規定の運用パターンを容易に実現することが可能です。

**パターン1** 加盟店の判断により本人認証を実施  
3DS認証は必要と判断された時のみ実施。属性・行動分析によるリスク判断機能、専門組織体制の整備、カード会社（アクワイアラー）の了承などが必要。

**パターン2** カード登録時は本人認証を必須  
カード登録時に必ず3DS認証を行う。決済時はリスク判断により必要な時のみ実施。厳格なアカウント管理や不正ログイン対策が前提、属性・行動分析によるリスク判断機能が必要。

**パターン3** 決済都度、本人認証を実施  
カード登録時に必ず3DS認証を行う。決済時はリスク判断により必要な時のみ実施。厳格なアカウント管理や不正ログイン対策が前提、属性・行動分析によるリスク判断機能が必要。

お問い合わせ